



須長 セツさん (番匠在住) 80歳

にするたびに、返納しておいてよかつたと思うわ」とセツさん。年齢を重ねると自身の運転に不安を感じる場面も多くなる。少しでも不安を感じたときは、免許の返納を検討する。その一歩が安心につながる。

協議会の送迎を利用しながら、買物や通院をしている。返納したことへの後悔はないという。「娘や近くの親戚、ご近所の方が助けてくれるから、周りの人の温かさに改めて気づくのよ。感謝の気持ちもどんどん深まるし、歩く機会も増えて、前より健康的な生活が送っているわ」とKさんは笑顔を見せる。

須長セツさん。54歳で免許を取得し、26年間にわたり車の運転を続けてきた。これまで主に買い物や通院のために利用してきたが、今年80歳を迎えるのを機に、運転免許を返納することにした。長年ゴールド免許を維持してきた中での決断だった。

免許返納のきっかけについて、「もうだいぶ車が古くなつてね。車検や万が一の事故の際に、娘や周囲に迷惑をかけたくないかったのよ」とセツさんは話す。近隣の市町村

娘からは「どうするの？」
それでも、返納してよかつた——。



Kさん（町内在住）82歳

ご存知ですか？ **運転免許証自主返納補助金**

補助金申請 の流れ

町では運転免許証を返納した70歳以上の方に、路線バス・乗合タクシーの定期券の購入費用を補助している。(1回限り、併用可)

- 補助金額
路線バス定期券（上限 2,500 円）
乗合タクシー定期券（上限 2,500 円）
 - 対象
運転免許を自主返納してから 6 か月以内で、町内在住の満 70 歳以上の方

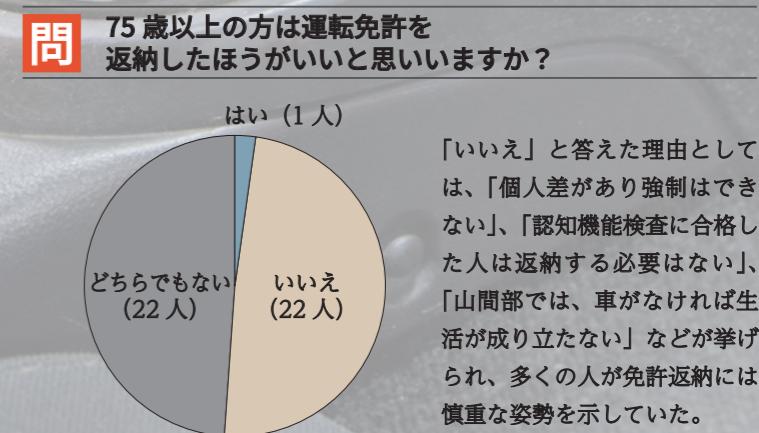
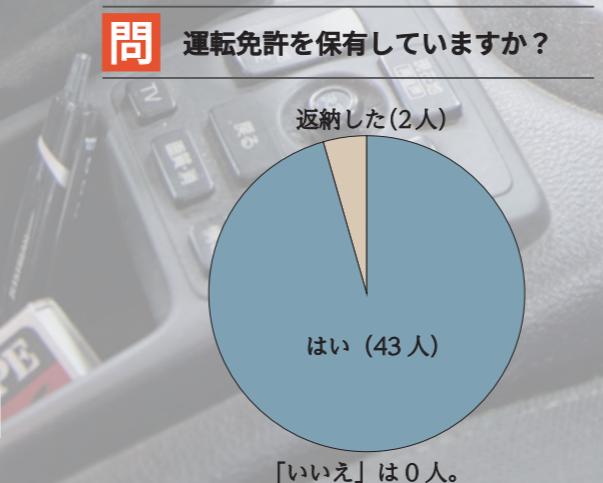


※ 町長車運転手さんにご協力いただきました。まだまだ現役です

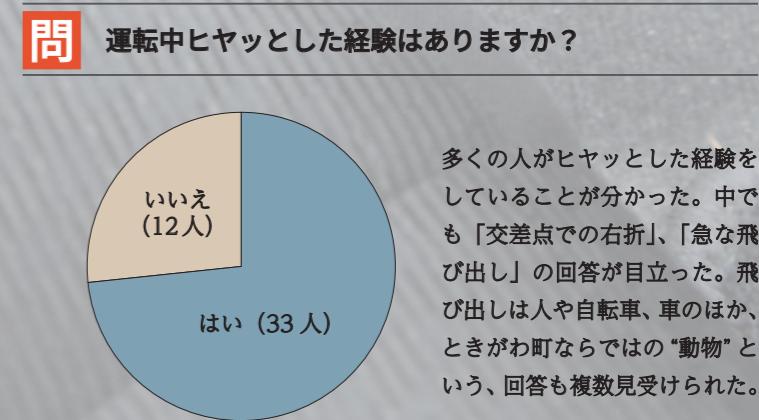
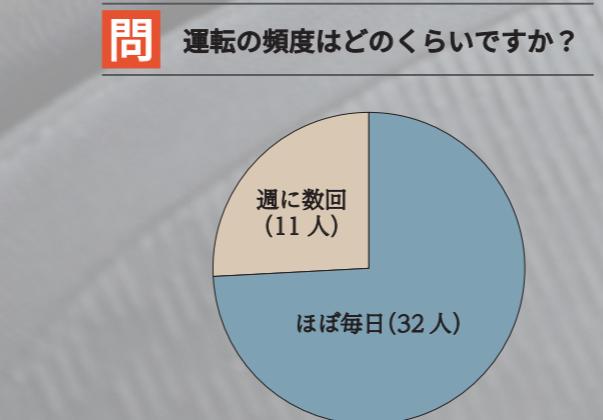


— 65歳以上のドライバーに聞く — どれくらい運転していますか？

役 場来庁者、玉川公民館利用者、社会福祉協議会ごきげん体操参加者の方にアンケートを実施。男性6人、女性39人、合計45人の方にご協力いただいた。平均年齢は74歳であった。



「いいえ」と答えた理由としては、「個人差があり強制はできない」、「認知機能検査に合格した人は返納する必要はない」、「山間部では、車がなければ生活が成り立たない」などが挙げられ、多くの人が免許返納には慎重な姿勢を示していた。



多くの人がヒヤッとした経験をしていることが分かった。中でも「交差点での右折」、「急な飛び出し」の回答が目立った。飛び出しは人や自転車、車のほか、ときがわ町ならではの“動物”という、回答も複数見受けられた。